

登米市立東和中学校のキャリア教育実践

登米市立東和中学校
校長 吉 沢 真 介

東和中学校では、家庭や地域と協働したキャリア教育を推進しています。主な取組として 起業教育や 職場見学や インターンシップ、東和中キャリアセミナー、高校訪問等があげられますが、今回は平成20年11月27日に実施した東和中キャリアセミナーについて紹介します。

東和中キャリアセミナー【東和地区学校支援地域本部のコーディネートによる】

1 実践の概要

生徒が将来を考えるための手がかりや社会に出るにあたっての大切な姿勢を、多くの職種のさまざまな人との「出会い」を通じて学ばせるものです。

県内各地から様々な職種の33名の講師の方にお出でいただき、35分の講座を、のべ130講座を開催しました。

講座内容は、講師の方々に「仕事に対する思い・人生観（やりがいや面白さ、喜びなど）」「その職に就くために必要な力と方法」等についてお話しいただき、小グループに分かれた生徒たちと語り合うというものです。

開催にあたっては、「東和中学校生が将来に対する目的意識を持った上で高校選択をしてほしい。」という学校の願いを【支援本部（1）】に相談したところ、支援本部と【ハーベスト（2）】が連携して、東和中学校キャリアセミナーのコーディネートにあたってくださり、学校を支えてくださいました。



1 「東和地区学校支援地域本部」

学校支援の体制整備を目的とした市町村を実施主体とする文部科学省の委託事業を登米市で受け、平成20年10月1日発足したもの。

東和地区での地域住民の積極的な学校支援活動を通じて教員の負担軽減を図るとともに、家庭・地域・学校・行政による協働教育の振興を図ろうとするもの。

2 「ハーベスト」Heart Best(ハ-ベスト)

/せんだい・みやぎオータムセミナー実行委員会

これまでアントレプレナーシップ教育やキャリア教育に携わった経験を持つ起業家をはじめ会社員・公務員・教員・大学教授・学生など多彩なメンバーが参画し、昨年オータムセミナー実行委員会として結成された有志団体。ハーベストは、オータムセミナー終了後、キャリア意識の形成に繋がる出会いの場の創出を恒常的に推進していくためのユニットとして設置しています。各メンバーの持っている豊富な人的ネットワークを駆使し、多彩なキャリアをもった市民講師団を編成し、県内の高校と協働でキャリア教育や進路指導の時間を充実を目指して活動しています。



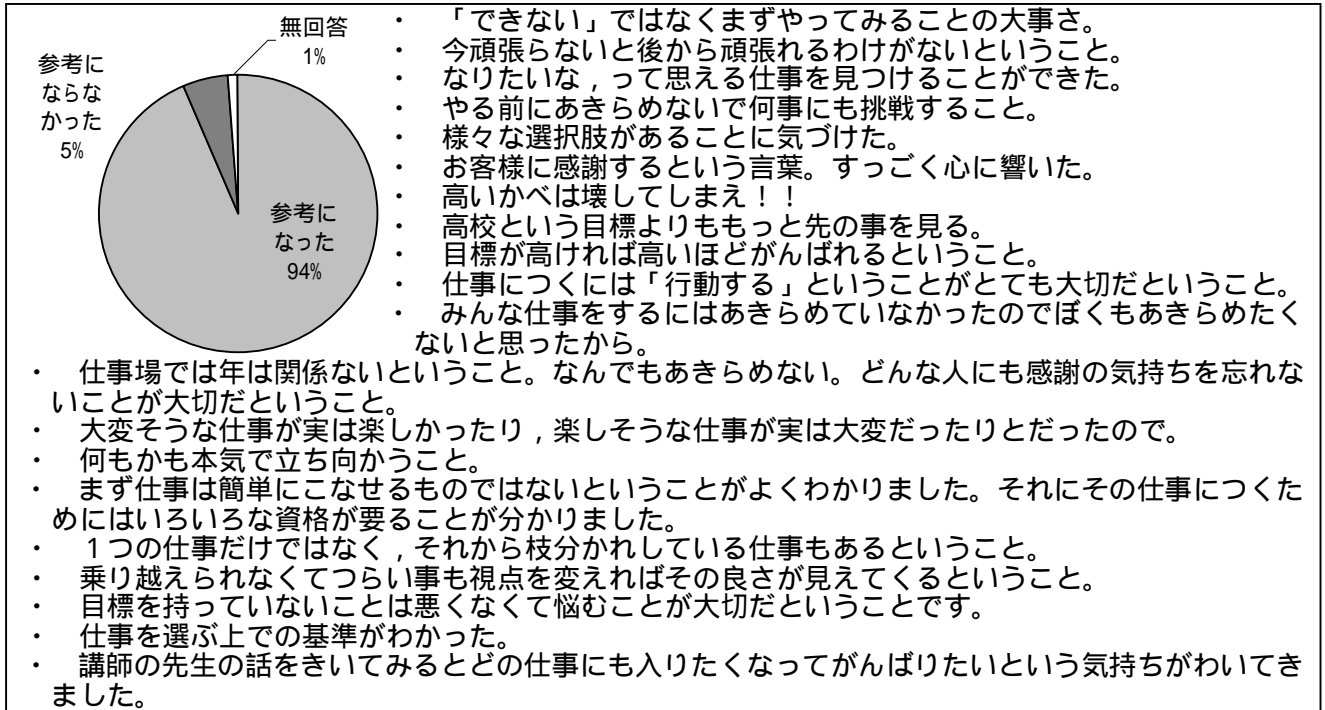
2 実践の成果

本実践で、生徒たちに直接なげかけた課題は「多くの職種の方々との出会いや話し合いをとおして、自分の生き方や将来の目的や進路について考えよう。」というものでした。

生徒対象の事後アンケートの結果では、自分の進路を考えるヒントになったと回答した生徒が94%。今まで考えていた進路の考え方が変わったと回答した生徒が64%いるなど、当初の目的を達成できた取組となりました。

【生徒への事後アンケート結果（抜粋）】（回答数 = 170名）

Q：あなたの進路を考えていく上で、今回の講座でヒントとなるようなことがありましたか？



Q：今まで考えていた進路の考え方は変わりましたか？

